症例の概要

併用薬:なし

No.	患者		1 □+∿	1 5 10 10 1		副作用								
INO.	性· 年齢	使用理由 (合併症)	1 日投与量 投与期間		経過及び処置									
1	女	結腸癌	160mg 21日間 (3週連 続投与1 週休薬)		肝障害									
	30代	(肝転移, 出血性胃炎, タバコール 取)			投与1日目 (投与開始日)		3) EC	本剤(160mg/日)の投与開始。投与開始直前の ECOG-PS: 0						
					投与8日目			爪囲炎、食欲不振が発現。						
					投与 22 日目 (投与中止日) (発現日)			本剤3週投与後,肝障害,手足症候群が発現。AST: 169 IU/L, ALT:131 IU/L。倦怠感はなく,食欲不振 は軽度。本剤の投与中止。						
					中止8日後		AS 食	AST: 2683 IU/L, ALT: 2336 IU/L, T-bil: 10.2 mg/dL。 食欲不振増強、倦怠感、発熱、黄疸出現し、入院。グ リチルリチン・グリシン・L-システイン 60ml 静注、						
								ウルソデオキシコール酸 600mg 経口, ラクツロース						
							シ	シロップ 65% 60ml 経口投与を開始 (8日間)。手足						
								症候群は軽快、爪囲炎は回復。						
						中止 11 日後		眠気,倦怠感訴えあり。						
								Japan Coma Scale (JCS): I 。						
								歩行可能であるが、経口摂取低下。						
					中止 14 日後			JCS: Ⅱ→Ⅲへ悪化。NH3: 178 μg/dL に上昇, 肝不全用アミノ酸製剤 500ml 点滴静注。不穏状態あり, ハロペリドール 10mg 点滴静注(24h) にて鎮静。						
					中止 15 日後									
	 臨床検査値				T 10 日 10		. лін	が						
		. 	投与	40		10 5	投与 22 日目	1						
	†	検査項目		投 <u>-</u> 8日		投与 15 日目	投与中止日 発現日		中止 9日後	中止 10 日後	中止 12 日後	中止 14 日後		
		(IU/L)	21 14	43		28	169	2,683	1,929	1,608	1,106	585		
		ALT (IU/L)		46		21	131	2,336	1,881	1,492	988	673		
		(IU/L)	334	47		480	572	1,306	671	598	543	608		
		(IU/L)	245	44		410	487	578	512	509	516	556		
		TP (IU/L)	28	86		56	76	115	92	75	50	38		
		(mg/dL)	0.5	0.9	9	0.7	1.2	10.2	11.5	13.1	16.2	18.9		
	D-Bil (mg/dL)			_	-			7.8	9.1	10.3	12.3	12.7		
	Alb (g/dL) PT (%)		3.9	3.9		4.0	3.9	3.4	3.0	2.8	2.8	3.0		
			91	_	-	_	_	44	_	38		170		
	NH_3 (μ g/dL) —		_		_	_	_	41	_	_	_	178		

症例の概要

No.	患者		1日投与量投与期間	副作用					
	性•	使用理由 (合併症)		経過及び処置					
2	男	直腸癌 (肺転移, 脳転 移, 骨転移)	160mg 6日間 (3週連 続投车)	間質性肺疾患					
	60代			投与1日目 (投与開始日)	本剤(160mg/日)の投与開始。投与開始直前の ECOG-PS:2				
				投与6日目 (投与中止日) (発現日)	採血にて CRP の異常高値あり。 レントゲンにて著変ないが、CT を施行し間質性肺炎 と診断。症状なし。本剤の投与を中止し、ステロイド パルス療法開始。セフトリアキソンナトリウム水和物 (2g/日)の投与開始。				
				中止3日後	呼吸不全あり,酸素吸入,プレドニゾロン 50mg 投与 開始。				
				中止8日後	単純 X-ray にて両側肺野にびまん性のすりガラス陰影を認めた。 抗生剤をタゾバクタムナトリウム・ピペラシリンナトリウムに変更。				
				中止 10 日後	2度目のステロイドパルス療法開始。				
				中止 11 日後	CT にて、肺転移巣以外の肺野をほぼ占めるすりガラス陰影を確認。				
				中止 15 日後	間質性肺炎にて,死亡に至る。				

臨床検査値

· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·									
検査項目名	本剤投与前日	投与6日目 投与中止日 発現日	中止2日後	中止4日後	中止8日後	中止 11 日後			
白血球数 (/μL)	8,160	8,400	6,560	9,690	16,010	16,560			
好中球(%)	86.6	74.8	90.9	89.3	91.8	94.1			
リンパ球(%)	5.0	7.7	4.1	3.1	1.8	2.2			
好酸球(%)	2.7	6.8	0.0	0.0	0.2	0.0			
LDH (%)	964	870	684	1,239	857	858			
CRP (%)	10.68	27.29	10.69	4.68	7.84	6.95			

胸部X線: (本剤投与前日) 両側多発性転移性肺腫瘍あり。

(発現日) 前回とほぼ変化なし。

(中止8日後) 両側肺野にびまん性のすりガラス影あり。

胸部C T : (本剤投与約2週間前) 両側肺転移増大。

(発現日) 両側に肺転移以外にランダムな分布のすりガラス影出現。 (中止11日後) 肺転移巣以外の肺野をほぼ占めるすりガラス影あり。

β-Dグルカン: (検査日不明) 陰性 カンジダ抗原: (検査日不明) 陰性 KL- 6: (発現日) 824 U/mL

併用薬:なし